

民報あばしり

NO.851

2012.1.22

発行所

日本共産党
網走市委員会
網走市北八四三
四三・四四五八
F四三・四四五七



市道の徐排雪急ピッチ!

一月に入り、道内で大雪による被害などが広がるなか、網走市でも12月末から今年1月10日過ぎまで、ここ数年で最高の128センチの積雪量を記録し、連日に及ぶ降雪に市民は徐排雪に追われています。

市の除雪回数も全車出動も8回に及びましたが、幹線をはじめ枝道での積雪の多さは道幅の狭さ、交差点での見通しの悪さ、車同士の交差が出来ないなど車をはじめ市民生活に大きな影響を与えています。

共産党議員団は市の建設部に早急な排雪作業を要請したところ、13日より全的に排雪作業に入り1月27日頃までに終了とのことでした。作業内容は次の通りです。



網走で流水初日!

1月17日網走の流水初日となりました。気象台のネットによると網走の流水初日は平年1月21日、昨年19日となっていました。流水初日とは、視界内の海面で初めて見られた日を言うのだそうです。



今年に入ってから網走の気候は、例年になく寒さが続き北西の風がほどよく吹いたことも例年より早い流水初日になったのでしょうか。
流水といえば砕氷船「おーろら」ですが、整備を終えた「おーろら」はタミナル前で観光客の乗船を待って停泊しています。

敏勝 東奔西走

17日の午前5時46分は今年も特別な思いで布団の中で迎えました。犠牲者6434人、家屋全半壊(焼)47万世帯という大災害、阪神・淡路大震災から17年目を迎えました。

あのとき私は女子実業団の監督としてチーム合宿で神戸市西神中央におり、この災害に遭遇しました。合宿所の料理人が出勤の途中に地震に遭遇し、命からがら来て言うことに「知り合いの料理人が高速道路の倒壊で下敷きになった。神戸市内は倒壊後、火災が発生し大混乱している。あなた方もすぐには帰れないよ」言われ、途方に暮れたことが走馬灯のように思い出されました。

震災で助かった命が孤独死などで次々と失われ17年で950人に達しています。住宅ローンや災害援護資金などの返済はいまも多く被災者に重くのしかかっています。17年たっても被災者の困難が続くのは、国・自治体がゼネコン・大企業をもうけさせる巨大開発優先の「創造的復興」をすすめ、被災者の生活再建を後回しにしたからにほかなりません。
3・11の東日本大震災でも同じことが問われています。同じ轍をふまない政治の責任が問われています。

松浦 奮戦メモ

野田内閣がめざす消費税増税に対する国民の意志が、全国紙の世論調査で明らかになりました。設問に「社会保障の財源」と明記しても消費税増税に「反対」が各社軒並み55%を超えています。「賛成」は3割台にとどまりました。大手新聞社はそろって野田内閣に対して、増税を支援する社説を掲げる中ですが、国民は消費税増税にきびしい目を向けています。野田内閣の支持率も統落傾向で、増税に向け「最強の布陣」とした内閣改造も支持を得ていません。先日、地域を訪問していたとき高齢のご婦人が「年金は毎年減らされているのに消費税を上げられたら暮らしていけない。テレビを見ているのも物価が下がったというけど何を見ていっているのだろうね、物価なんか下がっていないよ!腹が立って仕方がないわ」と怒りをぶつけてきました。その通りです。国民は、民主党政治が自公政治と何も変わらないことが分かったと思うので、次の選挙で共産党を伸ばして政治を変えましようとして訴えています。

流水

昨年震災から10ヶ月が経過している。まだまだ復興が進んでいない。これからの厳寒時期に、

当地の方々がどんな思いで暮らしているのか▼今朝、仮説住宅の、隙間風をふさいでいる学生ボランティアの映像が入った▼災害が起きたその後、全国でいろんな団体が募金活動を始めたさんかく被災地の方々に、少しでも多めに、自分が出せることは、その日の献立に見切り品で買物をしたその差額を募金箱に入れ、無駄な買い物はしないよう食生活も見直した▼しかし、確実に被災地に届いているのか?▼寒さに震える年配者の映像を見ると、募った募金をそのまま被災地に届けた団体もあるのに、スーパー前で募金した団体で、全国規模で集約され、どこにどのくらい届けられたのか、知らされていないので疑問が起きる。▼重ね着をして寒さをしのいでいる方に、1円でもと願った思いがつかない。募金活動に参加したご苦労は大きいですが、やりましただけで終わっていないだろうか?▼どうしたのかを明らかにし、知ることも、携わった者の責任ではないのか?時間が経過する中で、忘れていく感覚がある。代表の人に「知りたいので本部にあげて欲しい。募金した者の気持ち。」と伝えた。拘っていた。(て)